

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： TOF-PET/CT 装置における腫瘍の定量値改善効果に関する研究

研究の目的

最新の PET 装置に導入されている time of flight (TOF) 及び AMF は、PET 画像の画質の向上を実現しており、画像診断に大きく貢献しております。TOF は、体内に投与された放射性核種の位置をある程度特定できる技術で、PET の画質が綺麗になるだけでなく、放射線を画像化する時に生じるエラーを抑えます。AMF は、特別な装置を取り付ける必要なしで呼吸の動きに合わせた PET 画像を作る技術で、呼吸の動きに左右されやすい肺や肝臓などの腫瘍の診断に有効です。PET/CT 検査では、検査中の動きにより、アーチファクトと呼ばれる画像の劣化を生じる可能性があります。特に肺腫瘍や腸管に関しては、呼吸運動や蠕動運動などで患者が意図しない動きが生じる場合がありますが、この動きによるアーチファクトを TOF 及び AMF が抑制するという報告があります。私たちは、TOF 及び AMF によるアーチファクトの抑制効果を明らかにします。

研究実施期間： 2023 年 7 月 21 日 ~ 令和 7 年 3 月 31 日

対象となる方： 令和 4 年 12 月 1 日 ~ 令和 5 年 6 月 30 日までの間、附属病院で PET / CT 検査をされ、肺または消化管の悪性腫瘍と診断された方を対象とします。

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院で保管している PET/CT の検査データを用いて研究を行います。

具体的には、TOF を使用した PET 画像と使用していない PET 画像の画素値を比較することで、TOF によるアーチファクトの低減効果を実証します。併せて、AMF を使用した PET 画像と使用していない PET 画像の画素値を比較することで、AMF によるアーチファクトの低減効果を実証します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータの

みを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	弘前大学大学院保健学研究科 渡辺侑也 電話 ; 0172-39-5917 E-mail : h21gg704@hirosaki-u.ac.jp
-------	--